



NEWSLETTER Vol. 41



おもやい通信
2020.8

病院の働き方改革シンポジウム

令和元年度文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」に採択され、医療・医学研究分野の働き方改革の推進として、長崎大学病院において働き方見直しプログラムに取り組んできました。

その一環として、日本のワーク・ライフ・バランス推進の第一人者である小室淑恵氏による基調講演をはじめ、令和元年度からの取組チームによる成果発表、学長・病院長・小室氏による総括等の内容で、シンポジウムを開催します。働き方改革関連法案が施行され、働く環境が変わりつつある今、多忙を極める医療現場における働き方改革について一緒に考えてみませんか。

オンラインにて開催
※要申込

令和2年 8月22日(土)
13:30 - 16:30

申込みはこちら



文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」

Happy? Way of working! let's think!! Safety

病院の働き方改革シンポジウム

8月22日(土) 13:30~16:30
オンライン形式

日本のワーク・ライフ・バランス推進の第一人者である小室淑恵氏による講演、働き方改革関連法案が施行され、働く環境が変わりつつある今、多忙を極める医療現場における働き方改革について一緒に考えてみませんか。

基調講演 医療界でも実践できる！働き方改革の方法～秘訣はチームマネジメントと心理的安全性～
小室淑恵氏 株式会社ワーク・ライフ・バランス代表取締役社長

参加チームによる取組内容・成果の発表
外傷センター・高度救命救急センター・国際医療センター(各チーム)

学長・病院長・小室淑恵氏による総括

【主催】長崎大学ダイバーシティ推進センター 【共催】株式会社ワーク・ライフ・バランス

TEL.095-819-2889 FAX.095-819-2159
mail: omcyai_staff@nagasaki-u.ac.jp https://www.cdl.nagasaki-u.ac.jp/

- 【基調講演】「医療界でも実践できる！働き方改革の方法
～秘訣はチームマネジメントと心理的安全性～」
小室淑恵氏(株式会社ワーク・ライフ・バランス代表取締役社長)
- 【成果発表】高度救命救急センター・外傷センター・看護部 国際医療センター2



仕事と介護の両立セミナー

介護について個々の理解を深め、優秀な教職員(社員)の介護離職を防ぎ、不安を取り除いて能力を発揮してもらうために、仕事と介護の両立できる環境作りに取り組むとともに介護について話しやすい職場風土の醸成を可能にすることを目的に開催しています。

「若年性認知症とともに生きる」

講師：丹野 智文氏
(おれんじドア代表)

日時：令和2年9月11日(木)
14:00 - 15:30

場所：文教スカイホール
(文教キャンパス)
及びオンライン

対象：すべての方
※要申込。昨今の状況を踏まえ、入場者数を制限します。

令和2年度 ウィメンズ エグゼクティブ リーダーシッププログラム 受講者決定!

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響の観点から、セミナーやワークショップの開催は中止し、放送大学の科目群認証制度を活用することにしました。

定員20名で先着順としたところ、すぐにお申し込みをいただき、あっという間に定員に達したほど好評でした。女性研究者のみなさまの研究力向上に向けた意識の高さが窺い知れます。



令和2年度

若年性認知症とともに生きる

9/11(金)
14:00~15:30 (座席13・40)

・文教スカイホール(長崎大学文教キャンパス)
・オンライン

講師：丹野 智文氏
おれんじドア 代表
(認知症の家族支援)

参加費無料
お申し込みは速やかにしてください。

【主催】長崎大学ダイバーシティ推進センター
TEL.095-819-2179 FAX.095-819-2159
MAIL: omcyai_staff@nagasaki-u.ac.jp https://www.cdl.nagasaki-u.ac.jp

ダイバーシティ学習プログラム作成のための基礎調査（令和2年3月実施） ご協力ありがとうございました。

当センターは、文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(先端型)」に採択され、ダイバーシティ推進学習プログラム(e-learning、ワークショップ等)の開発・導入に着手しています。本調査は、学習プログラム開発の基礎となる知見を得ること等を目的に実施しました。結果を一部ご報告します。

【調査時期】 令和2年3月11日～令和2年3月19日

【調査対象】 本学の教員・職員および全学生

【有効回答総数】 2,632票 <紙:989 web上:1532> (学生113 教員694 職員1,805 無回答20)

【回収率】 教職員46.2% 学生1.3%

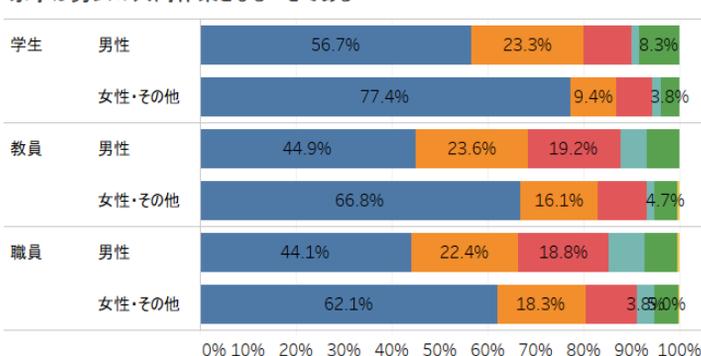
【結果と考察】

「性別役割意識」について、女性が家庭の外で働くことについては、性別に関わらず肯定的な回答の割合が高い。一方で「家事は男女の共同作業となるべきである」という質問においては、男性は女性・その他よりも肯定的な回答の割合が低かった。男性は、女性が外で働くことに対して肯定的であっても、家事に対しては共同作業という認識が低い。

性別に関わらず誰もが活躍できる職場を作るためには、家庭内の役割分担についても考えていく必要があります。

Q7.7

家事は男女の共同作業となるべきである



■ 全くその通りだと思う

■ 2

■ 3

■ 4

■ ぜんぜんそう思わない

■ 無回答



※回答の選択肢には「全くその通りだと思う」から「ぜんぜんそう思わない」の5件法を使用

その他の結果は今後当センターホームページに掲載する予定です。

また、本調査の結果を、現在開発中の「ダイバーシティ推進学習プログラム」に活用していきます。

長崎大学のダイバーシティ推進に関する満足度調査（令和2年9月実施予定） 調査協力へのお願い

本学は、平成27年度に文部科学省科学技術人材育成費補助事業「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)」に採択され、主にライフイベント(介護や育児)に関する支援や働き方の見直しを行うことによって、全ての人が仕事とライフイベントの両立を実現することができる職場環境をつくること、女性研究者が研究力を向上し、上位職登用につながるよう支援を行うこと等に取り組んできました。

今年度が当事業の最終年度であることから、これまで行ってきた取り組みの成果と課題を明らかにすることを目的に調査を実施いたします。今回は、web上調査票(一部web回答が難しい部署のみ紙調査票を配布予定)で進めています。

職務でお忙しい中恐縮ですが、本調査へのご理解、ご協力をお願い申し上げます。



日頃よりダイバーシティ推進センターの運営に、ご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。センター職員一同、今後も力を尽くして参りますので、引き続きよろしくお願いいたします。

【編集・発行】 国立大学法人長崎大学ダイバーシティ推進センター
(愛称:おもやいセンター)

〒852-8521 長崎市文教町1-14

TEL: 095-819-2889 FAX: 095-819-2159

E-mail: omoyai@ml.nagasaki-u.ac.jp HP: <https://www.cdi.nagasaki-u.ac.jp>